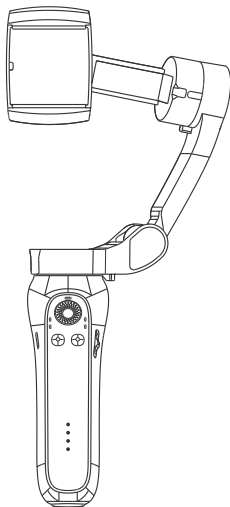




スマートトラッキングジンバルユーザーマニュアル

バージョン 1.5 2024年4月



目次

クイックスタートガイド	2
製品概要	3
ビデオチュートリアル	3
スマートフォンスタビライザー	3
XbotGoジンバルボタンの理解	4
準備	5
ジンバルの充電	5
スマートフォンの取り付け	6
撮影場所の選択	7
使用方法	9
ハンドルの説明	9
ジンバルの調整	10
XbotGoアプリ	11
よくある質問	16
注意事項	18
仕様	19
リモコン	20
Apple Watchアプリ	26

01/ クイックスタートガイド

XbotGo アプリをダウンロードしてインストールします。アプリストアで「XbotGo」と検索するか、QRコードをスキャンしてダウンロードしてインストールしてください。



iOS



Android

△ XbotGoの ご使用にはiOS 15.0以上のシステムが必要です。
XbotGoの ご使用にはAndroid 10.0以上のシステムが必要です。

1. XbotGoアプリを起動します。
2. アプリ内の「マニュアル」または「ユーザーガイド」をクリックして、ガイドランスを表示します。
3. マニュアルとユーザーガイドをお読み頂き、XbotGoジンバルの正しい操作方法をご理解の上、ご使用下さい。

ヒント:

- 1) 製品を初めて使用する場合は、ジンバルのバッテリーが十分に充電されているかどうかをご確認下さい。
- 2) ジンバルを使用しない場合は、電源がオフになっていることをご確認ください。
- 3) スマートフォンを取り付けるときは、スマートフォンがジンバルのスマー

トフォンランプパネルにしっかりと密着していることを確認し、スマートフォンが外れて落下しないようにしてください。

02/ 製品概要

私たちは、XbotGoジンバルを使用したスポーツイベントの自動トラッキング撮影のためのビデオチュートリアルがございます。XbotGoを使用するには、使い方をきちんと理解する必要があるため、必ずQRコードをスキャンしてチュートリアル動画をご確認ください。

▶ ビデオチュートリアル:

XbotGoジンバルを使用したスポーツの自動トラッキング撮影のためのビデオチュートリアルがございます。XbotGoを使用するには、使い方をきちんと理解する必要があるため、必ずQRコードをスキャンしてチュートリアル動画をご確認ください。

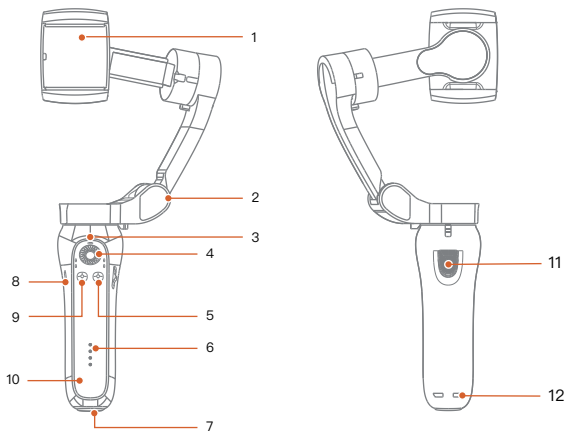


▶ スマートフォンスタビライザー

XbotGoのスポーツ自動トラッキング撮影機能は、モバイルジンバルをベースに開発されています。良質なユーザー体験を実現するために、私たちは専用のXbotGoアプリをジンバルと併用して使用するように開発しました。さらに、XbotGoジンバルには通常のスマートフォンスタビライザーの機能も備わっ

ています。スタビライザー機能を使用する必要がある場合は、XbotGo公式ウェブサイトからダウンロード可能な「XbotGo Gimbalスマートフォンスタビライザーユーザーマニュアル」を参照してください。

03/ XbotGoジンバルボタンの理解



- 1. スマホホルダー
- 2. 折りたたみシャフト
- 3. Bluetooth通信ランプ

- 4. ジョイスティック
- 5. 電源ボタン
- 6. バッテリー残量ラン

7. 1/4" 取り付け用ネジ穴

8. Type-C充電口

9. モードボタン

10. ハンドル

11. シャッターボタン

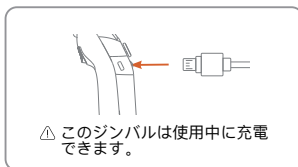
12. ストラップ取り付け穴

04/準備

▶ ジンバルの充電:

XbotGo ジンバルを充電するには、ハンドル上のUSB Type-C充電ポートを使用します。

- 充電には5V/2Aのアダプターを使用することをお勧めします。
- 充電のためにアダプターとジンバルを接続するために、商品に同梱されたデータケーブルを使用してください。
- 通常の充電中、電源インジケータライトが点滅し、充電の状態を示します。
- 電源インジケータライトが点灯しない場合は、アダプターとケーブルが正しく接続されているかどうかをご確認ください。



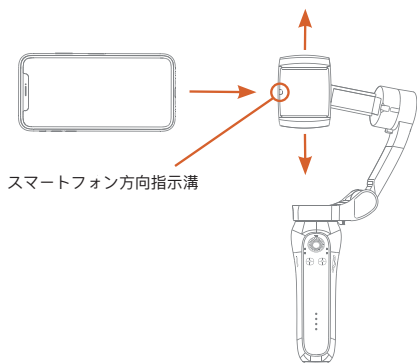
充電時間: 80分

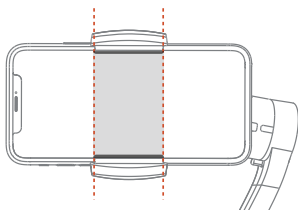
使用時間: 3~4時間

▶ スマートフォンの取り付け:

スマートフォンをジンバルに取り付ける際は、以下の手順に従ってください:

1. 取り付ける前に、スマートフォンのケースを取り外すことをお勧めします。これにより、次のことができます:
 - スマートフォンとスマートフォンブラケットがしっかりと固定されます。
 - 室外で気温が高い場合は、スマートフォンの放熱に役立ちます（スマートフォンが過熱すると自動的にシャットダウンする可能性があります）。
2. スマートフォンブラケットの方向指示に従って、スマートフォンをクランプに挟みます。スマートフォンはクランプの中央にセットして下さい。スマートフォンとジンバルのスマートフォンブラケットパネルの間に隙間がないようにセットして下さい。スマートフォンがXbotGoアプリで示された場所に正しくセットされていることを確認してください。

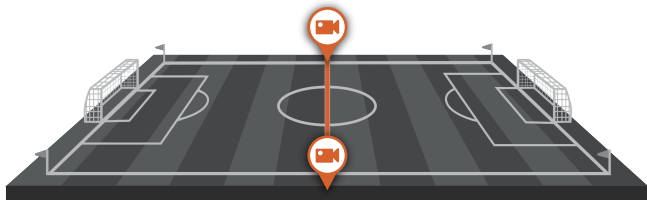




スマートフォンがXbotGoアプリで示された場所に
正しく向けられていることを確認してください。

▶ 撮影場所の選択:

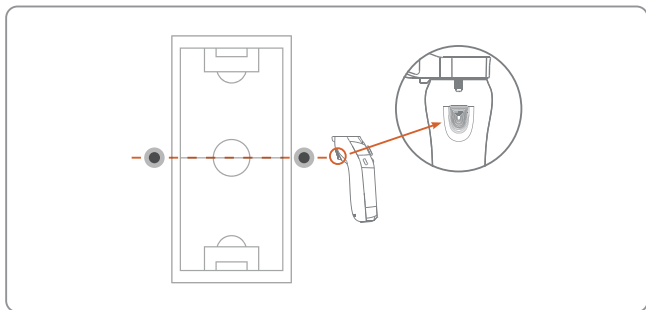
スポーツゲームを撮影する際は、フィールドの中心線付近をお勧めします（
参考図をご確認ください）。



サッカーフィールドの例

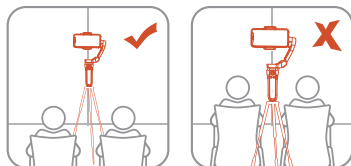
- シャッターボタンをフィールドの中心線に合わせます。
- 三脚を使用して固定させ、撮影中にジンバルが動かないようにします。

フィールド全体を撮影するには、すべてのモード（バスケットボールの半コートを除く）で次の手順にて行います。デバイスの後部の中央マーカを、ターゲットフィールドの中心線に合わせます。これにより、カメラがフィールド上のすべてのアクティビティを撮影できるようになります。



観客が映らないようにするには、次の方法をお試しください：

1. できるだけ三脚を高く設置し、フィールドの外側にセットします。
適度な距離でより良い結果が得られます。スペースが不足している場合は、フィールドの端（ライン際）に設置します。
2. 観客がカメラに映らないようにご注意ください。観客や他の人が画面に映らないことによって、自動トラッキングの撮影精度が上がります。

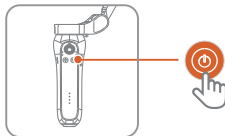


05/ 使用方法

▶ ハンドルの使用説明書

1. 電源ボタン

- 電源オン：電源ボタンを長押しして、ジンバルを起動します。
- 電源オフ：電源ボタンを長押しして、ジンバルをオフにします。ジンバルは電源オフの際にピピっという音を発します。シャットダウン音が停止した後、すべてのインジケータライトが消灯し、電源が切断されたことを示します。シャットダウン後は、ジンバルを手動で折りたたみ、スマートフォンクランプを収納位置にセットします。
- 電源ボタン（短く押す）：水平または垂直撮影モードを切り替えます。ジンバルが詰まっている状態で（AFライトが交互に点灯して消灯している場合）、電源ボタンを短く押すと、ジンバルを再起動できます。



2. モードボタン

- モードボタンをダブルクリックすると、ジンバルの撮影角度が中心位置にリセットされます。

3. シャッターボタン

- Bluetoothをリセット：電源ボタンとシャッターボタンを約3秒間同時に押し続けると、Bluetoothがリセットされ、以前にペアリングされたスマートフォンとの接続が解除され、新しいスマートフォンが迅速に接続できるようになります。

4. ジョイスティック

- ジョイスティックを上下または左右に動かして、ジンバルの回転方向を制御します。

5. バッテリーインジケータライト

インジケータライトの状態	バッテリーの残量
最初のバッテリーライトが点滅	0%–25%
2番目のバッテリーライトが点滅	25%–50%
3番目のバッテリーライトが点滅	50%–75%
4番目のバッテリーライトが点滅	75%–99%
4つのライトが常時点灯	100%

6. Bluetoothインジケータライト

点滅パターン	指示
Bluetoothインジケータライトが点滅（ゆっくり）	Bluetoothが接続されていません
Bluetoothインジケータライトが高速に点滅します	Bluetooth接続中
Bluetoothインジケータライトが点灯します	Bluetooth接続済み

7. 1/4インチネジソケット

底面の1/4インチネジソケットを使用して三脚を取り付けます。

▶ ジンバルの調整:

1. 電源ボタンを短く押して水平または垂直撮影モードに切り替え、スマー

トフォンを水平または垂直にします。

2. モードボタンをダブルクリックしてジンバルを中心位置に戻し、ジョイスティックを使用してジンバルを回転させ、スマートフォンのカメラをフィールド上のプレーヤーの方向に合わせます。

▶ XbotGoアプリ

XbotGoジンバルをXbotGoアプリと連携させて使用すると、スマートフォンで撮影画面をリアルタイムに表示し、自動追跡、手動撮影、ライブ配信などの機能を利用できます。

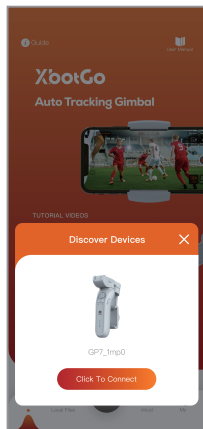
接続:

1. アカウントに登録してログインします。
2. スマートフォンの設定でBluetoothを有効にします。
3. XbotGoアプリを開いて、メイン画面に入ります。
4. アプリ内の「撮影」 ボタンをクリックします。
5. アプリが「GP7 XXX」または「Xbot XXX」という名前のXbotGoデバイスを検索します。デバイスが見つかったら、選択して接続します。デバイスが表示されない場合は、スマートフォンのBluetooth設定をご確認ください。デバイスが他のデバイスとペアリングされている可能性があります。



- ⚠ 電源ボタンとシャッターボタンを同時に約3秒間押すと、Bluetoothをリセットし、以前にペアリングされたスマートフォンとの接続を解除し、新しいスマートフォンとのが可能になります。

6. デバイスが初めて接続されると、ペアリングの確認画面が表示されます。その後、デバイスを使用すると、XbotGoアプリが自動的にデバイスに接続し、ペアリングの確認画面は表示されなくなります。



7. 接続されたデバイス（ジンバル/リモコン）は、XbotGoアプリのメイン画面に対応するアイコンとBluetooth識別名が表示されます。



8. 手動でXbotGo Bluetoothデバイスを追加することもできます。手動でジンバル/リモコンを追加します。



- ⚠ 同時にジンバル1台とリモコン1台のみ接続できます。

録画:

1. Bluetoothが接続された後、アプリ内で対象スポーツプログラムを選択し、録画モードに入ります。録画モードでは、赤い録画ボタンを押して自動追跡と録画を開始できます。
2. 録画を開始する前に、着信などの中断がないように、スマートフォンをサイレントモードにすることを勧めます。

撮影パラメータの設定:

XbotGoアプリの撮影画面に入った後、画面上の対応するアイコンをクリックしてパラメータを調整できます。



1. インターフェース非表示:

撮影画面のアイコンやボタンを非表示にして、スクリーンレコーディングやライブ配信を行いやすくします。



2. サイレントモード:

静音録画とライブ配信を有効にします。

3. 解像度: 

録画解像度を1080pまたは720pに選択します（スマートフォンのモデルと撮影モードによって自動的に調整されます）:

iPhone12以上は1080pをサポートし、互換性のあるAndroidスマートフォンは1080Pをサポートします）。一部の古いモデルのスマートフォンは、1080pビデオを録画し、AI処理を行うと、フレームが落ちる場合があります。デフォルトで720pで録画しているスマートフォンをは、手動で1080pにアップグレードできますが、トラッキングと録画の効果を保証することはできません。

4. ズーム倍率: 

撮影効果と異なるシーンでのトラッキングパフォーマンスを総合的に考慮して、さまざまな撮影モードでアプリは異なるズーム倍率を設定

しています。

5. "  "アイコンをクリックして、詳細設定を行います：

- 自動保存時間

ビデオの自動分割保存時間。各ビデオセグメントの保存時間を選択またはカスタマイズできます。録画時間をデフォルト値30分に設定することをお勧めします。長時間録画すると、スマートフォンが過熱し、正常に作動しなくなる可能性があります。録画時間を30分に設定すると、30分経過後に現在のビデオが自動的に保存され、新しいビデオが新しいファイルに書き込まれます。

- エネモード

省エネモードをオンにすると、撮影開始後に画面の明るさが最低限になり、スマートフォンのバッテリーの寿命が延びます。

- オートフォーカス

オンにすると、撮影中に自動的にフォーカスが変更されます。

- 自動追跡

手動、自動追跡の切り替えができます。自動追跡を停止したい場合は、自動追跡機能をオフにして、ジンバルのボタンを使用して手動で追跡撮影を行います。

- 撮影角度

ジンバルの左右の撮影角度の最大値を制限します。ジンバルの回転角度が大きすぎると誤作動する可能性があります。撮影角度の範囲を必要に応じて調整します。

- 追跡速度

通常、デフォルト設定で問題ありません。追跡速度が遅い場合は、必要に応じて追跡速度を調整できます。

ビデオの保存:

録画されたビデオはXbotGoアプリ内に保存されます。これらのビデオにアクセスするには、「ローカルファイル」を開いてすべての保存されたビデオを表示します。

アップロード/ダウンロード:

「ローカルファイル」をクリックして、管理画面を開き、右上の「」アイコンを右上にクリックして、アップロードまたはダウンロードしたいローカルビデオを選択します。アップロードされたビデオはクラウドインターフェイスで表示され、スマートフォンにダウンロードされたビデオはアプリのローカルファイルで確認できます。

共有:

クラウド管理をクリックし、管理画面を開き、共有したいビデオを選択し、下部の共有「」アイコンをクリックすると、共有できます。

ライブ配信:

1. ライブ配信を開始するには、撮影画面の右上にある「ライブ配信を開始」ボタンをクリックします。システムの指示に従って、ライブ配信のカバー画像を選択し、ライブタイトルを入力します。
2. ライブ配信はXbotGoプラットフォーム上で行われ、ライブ配信リンクを共有してイベントを外部に公開できます。ライブ視聴のパスワードを設定し、ライブ視聴範囲を設定できます。



06/ よくある質問

- ジンバル本体の歪み、振動する、追跡しない、異常な動き、機械音などの問題は、通常、次のような理由により発生します：
 - デバイスの電力不足
 - スマートフォンのクリップ位置が中央にセットされていない
 - 外部からの力がデバイスの正常な動作を妨げている
- 完全にトラッキングされない理由には次のものがあります：
 - Bluetooth接続が切断されている
 - デバイスが誤ったスマートフォンに接続されている（過去にジンバルが複数のスマートフォンに接続されていた場合）
- トラッキングはされているがトラッキングの効果が低い場合、具体的な問題と解決策は次の通りです：
 - 一部のエリアが撮影されていない：
デバイスのセットと角度に問題がある。デバイスのハンドルの裏にある延長線は、デバイスの中心角度が正しいことを確認するためのものです。フィールドのサイドラインと垂直になるようにセットされる必要があります。
 - 一部のプレイヤー（特に遠くのプレイヤー）の動きにカメラが反応しない：
モードまたはフィールドのサイズの選択が間違っています。プレイヤーの年齢が間違っています。
 - プレイヤーがフィールドの一侧にいるのに、カメラが長時間（30秒以上）別の側の空の半分を向いている：
フィールドの端に観客がいるため、カメラが誤って認識しています。デバイスをできるだけフィールドに近づけて、観客の写り込みを最小限に抑えます。

- カメラがズームインまたはズームアウトしない、またはズームが明らかでない場合：

自動ズームがオンになっていることをご確認ください。

ズームアルゴリズムが改善していく可能性があります。

4. ジンバルのバッテリー消耗が早すぎる場合（1時間未満）：

- スマートフォンのクリップ位置を調整して、スマートフォンを中央にバランスよく取り付けます。
- 極力、ジンバルのバッテリーがフル充電されていることを確認してください。フル充電で電源を入れるときには4つの青色の電源ランプが点灯します。
- 純正のケーブルを使用して充電し、高出力充電器を使用しないでください。

5. デバイスのBluetoothに接続できない場合：

- ジンバルが他のスマートフォンに接続されていないことをご確認ください。スマートフォンのBluetoothリストを確認し、ジンバルのBluetoothが表示されていることをご確認ください。
- ジンバルを再起動してアプリを終了し、再度開いてください。
- ジンバルのBluetoothをリセットして再接続します。

6. 一般的な解決策

- スマートフォンのクリップ位置を調整して、スマートフォンを中央にバランスよく取り付けます。
- デバイスを再起動し、アプリを終了してから、再度開きます。
- Bluetoothをリセットしてデバイスを再接続します。

07/ 注意事項

- 1) XbotGoジンバルを起動・使用する際に外部の力がジンバルの回転を妨げないようにしてください。
- 2) XbotGoジンバルを起動する際には、ハンドルを安定させてください。
ジンバルを起動中にジンバルを揺ると、起動に失敗する可能性があります。ジンバルを起動する前に三脚を設置し、ジンバルを起動して使用してください。
- 3) XbotGoジンバルは防水ではありません。製品に液体が触れないようにし、水に浸さないでください。
- 4) ジンバルを分解しないでください。誤って分解した場合は、公式のアフターサービスにお問い合わせください。
- 5) 長時間の連続作業した使用は、モーター表面の温度が高くなる可能性があるため、ご注意ください。
- 6) 製品を大切に使用してください。ジンバルを落としたり衝撃を与えたりすると、損傷する可能性があります、正常な動作が妨げられる場合があります。
- 7) 製品を子供やペットの手の届かない場所に置いてください。
- 8) 製品を暖房器具（暖炉やヒーターなど）の近くに置かないでください。
高温の環境（車の中や室内など）に製品を保管しないでください。
- 9) 製品を乾燥した環境にて保管してください。
- 10) 過充電を避け、電芯を損傷しないようにしてください。
- 11) 製品を0℃-40℃の温度範囲で使用してください。

08/仕様

製品重量	362g (スマートフォン除く)
最大積載量	280g
作業温度	0°C - 40°C
動作電圧	3.4~4.2V (標準 3.7V)
適応スマートフォンサイズ対角線	≦180mm 幅: 55-90mm 厚さ: ≦9.5mm
作業電流	150~3000mA (標準 1500mA)
ジンバルサイズ	展開時: 260mm*130mm*88mm 折りたたみ時: 152mm*110mm*46.6mm
充電時間	80分 (5V/2A充電器を使用))
使用時間	4~5時間
入力電圧	5V
入力電流	2A

09/ リモコン

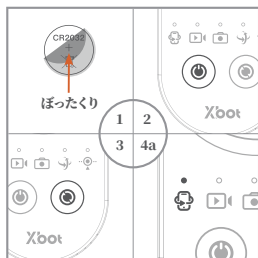
▶ リモコンの仕様



モデル	XbotGo RC1
バッテリーモデル	CR2032
信号受信範囲	10m
動作環境	-5°C ~ 60°C (23°F ~ 140°F)

▶ クイックスタートガイド

1. バッテリーコンパートメントのカバーを開け、バッテリーの底部から絶縁プラスチックシートを取り外し、バッテリーコンパートメントのカバーを閉じます。
2. 電源ボタンを3秒間押し続けてリモートコントローラーの電源をオン/オフにします。
3. 電源をオンにした後、機能選択ボタンを押して機能を切り替えます。
4. 最初に使用する前にBluetoothのペアリングが必要です。
 - a. リモートコントローラーの電源ボタンを長押ししてください。リモートコントローラーがオンになっ



た後、電話の接続インジケータが赤く点滅します。

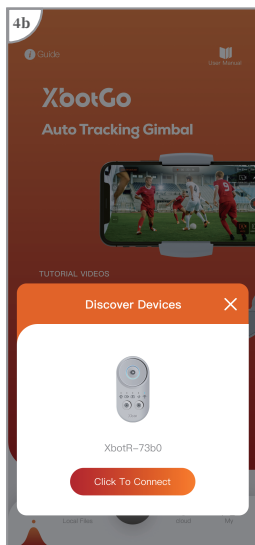
- b. 電源がオンのデバイスに近づいたら、XbotGo APPでXbotR-XXXXを選択してペアリングします。接続が確立した後、電話の接続インジケータが青く点灯します。

5. 信号範囲を超える場合（10メートル）：

リモートコントローラー上の赤いメニューインジケータライトと円環ライトが点滅し、これによりリモートコントローラーの接続が切断されていることが示されます。1分以内に受信範囲に再入すると、リモートコントローラーの青いライトが点灯し、接続が自動的に復元されます。

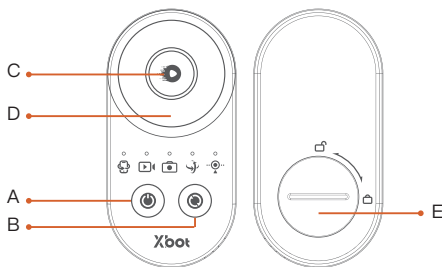
6. スリープとシャットダウン：

3S リモコンは何も操作しないと休止状態になります。休止状態でリモコンのいずれかのボタンを押すと、接続状態になります。30分以上スリープした後、リモコンは自動的にシャットダウンし、電源ボタンを押し、電源を入れた後にデバイスを再度閉じて再接続します。



- ⚠ 使用中にリモートコントローラーが切断されても、電話側で実行中のプログラムには影響しません。使用中にAPPがリモートコントローラーを検出できない場合は、電源ボタンを3秒間押ししてリモートコントローラーをリセットし、その後ペアリングと接続操作を行って復旧させることができます。

▶ XXbotGo RC1 リモコン



A.電源ボタン

B.機能選択ボタン

C.確認ボタン

D.方向キー（円盤）

E.バッテリー

▶ ボタンと機能

使用を開始する前に、リモコンの各機能をご確認ください。

▶ 撮影機能

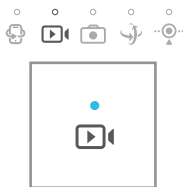
機能選択ボタンを押して、撮影機能に切り替えます。撮影機能モードで確認ボタンを押すと、撮影状態をコントロールできます。

• リモコン側：

1. 「ピッ」と一回音が鳴ったら、XbotGoアプリが「録画開始」状態にあることを示します。
2. 「ピッピッ」と連続して二回音が鳴ったら、XbotGoアプリが「録画停止」状態にあることを示します。

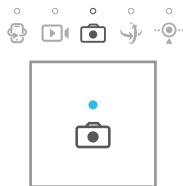
- **XbotGoアプリ側:**

3秒間の青いヒントマスクが表示され、3秒後にマスクが自動的に消えます。この時点で撮影モードに入り、対応する操作命令で撮影状態を確認できます。



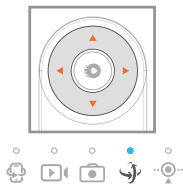
▶ **写真撮影機能**

- 機能選択ボタンを押して、写真撮影機能に切り替えます。
- 写真撮影モードで確認ボタンを押すと、写真を撮影できます。



▶ **方向転換機能**

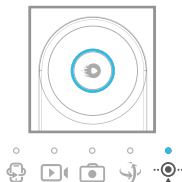
- 機能選択ボタンを押して、方向転換機能に切り替えます。
- 上下左右の方向キーを押すと、レンズが対応する方向に回転します。



▶ **マーキング機能（撮影時のみ利用可能）**

素晴らしい瞬間を手動でマークし、自動的に素晴らしいハイライトビデオを生成します。素晴らしいシーンは、XbotGoアプリ/クラウド管理で確認できます。

- ビデオの撮影を開始します。
- リモコンをマーキングモードに切り替えます。
- ビデオをマークする必要があるポイントで、確認ボタンを押します。
- ビデオの撮影が完了したら、ビデオのタイムライン上に、マークされた時点が特別な色で表示されます。



▶ ビデオ編集

- 撮影が完了した後、XbotGoアプリのローカルファイルからマークされたビデオを選択し、XbotGoクラウドにアップロードします。
 - XbotGoクラウド管理画面で、「編集タスクを追加」をクリックし、対象のビデオを選択します。
- 1) 対象ビデオの長さを選択します。
 - 2) 「編集を開始」をクリックします。
 - 3) クラウドでのビデオの自動編集が完了するのをお待ちください（XbotGoアプリを閉じていても自動編集は実行されます）。



⚠ リモコンが赤い点滅ランプを示し、ブザーが鳴り、XbotGoアプリでエラーやコマンドの実行に失敗したという異常なフィードバックがある場合は、XbotGoアプリのメッセージに従って操作してください。

▶ 電池

リモコンにはCR2032ボタン電池が装備されています。

⚠ **最高の製品パフォーマンスを得るために：**

- ・異なる種類の電池を使用しないでください。
- ・デバイスを2か月以上使用しない場合は、電池をリモコンに残さないでください。

電池の処分：

- ・電池を未分類の市のごみとして処理しないでください。当地の法律に基づき、適切に電池を処理してください。



警告する

この製品にはボタン電池が含まれています。危険物ですので飲み込まないでください。お子様の手の届かないところに保管してください。摂取すると、化学火傷、軟組織穿孔、さらには死亡を引き起こす可能性があります。入場後2時間以内に重度の火傷を負う可能性があります。直ちに医師の診察を受けてください。

▶ リモコンに関する注意事項

- ・リモコンを使用するには、撮影されたスマートフォンから10メートル以内で使用する必要があります。
- ・リモコン信号を受信すると、XbotGoアプリはペアリングのプロンプトを表示します。

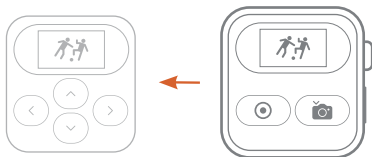
10/ Apple Watchアプリ

▶ 使用ガイド

- XbotGo Appをスマートフォンで撮影モードにした後、Apple Watch上の XbotGo App を起動すると、スマートフォンの撮影画面をApple Watchの 画面でプレビューできます。
- 上下左右の方向キーをクリックすると、ジンバルの回転方向を操作できます。



▶ 操作インターフェース



Appのホーム画面を左にスワイプして、撮影操作画面に入ります。

- ビデオ録画機能: 左側のビデオ録画ボタンをクリックして、ビデオ録画モードに入ったり退出したりします。
- 写真撮影機能: 写真撮影ボタンをクリックして、ビデオ撮影中に静止画を撮影できます。写真はスマートフォンのXbotGo Appのローカルファイルで確認できます。
- マーク機能: 撮影過程での素晴らしい瞬間を手動でマークし、自動的にハイライトビデオを生成します。ハイライトクリップはXbotGo App/クラ

ウド管理/クラウドドライブで確認できます。

- ビデオにマークを付けるには、必要な時点で確認ボタンを押してください。
- 撮影が完了した後、ビデオのタイムラインには、マークされた時間点が特別な色で表示されます。

⚠ コンテンツの更新がある場合は、別途通知いたしません。

詳細については、XbotGoの公式ウェブサイトwww.xbotgo.comをご覧ください。